



みらい経営グループ
あなたの繁栄が私たちの喜びです！

税理士法人みらい経営レポート

〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号

今月の視点

徳の高い会社でより良い組織づくり！！

～徳は本なり 財は未なり～

7月16日 特別講師／天明 茂 氏 講演録〈簡易版〉

(天明 茂) みなさん、おはようございます。

レジュメに沿って進めさせていただきますが、レジュメの表題のところに、『なぜ、うまくいっている会社の経営者のご先祖を大切にするのか』、この題名の本を見た横浜の社長が、「先生これで日本は変わるね」「変わるよ」「じゃあ学校作ろうよ」で作ったのが『一般社団法人 人間力大学校』なんです。3年前からこの人間力大学校のお仕事をさせて頂いてるのですが、京セラの稲盛名誉会長が推薦人になってくれたり、イエローハットの鍵山先生が推薦人になってくれたり、遺伝子工学 村上和雄先生が推薦人になってくれたりして、いま全国で人材づくり、人間力を高めるといふ、人間力経営というのを広めていこう、こんな形で進めさせていただいております。

私の自己紹介、昭和17年生まれですから、数えて78才です。

みなさん、年齢はなぜ『数え』なの？『満』じゃないの？『数え』が正解ですよ。

『満』ておかしいですよ。お腹の中で見たり聞いたり試したりしてるんですから、生まれ出たときは1才、当然だと思って、私はずっと『数え』で数えております。

公認会計士の勉強をして受かって、なんとかしなくちゃ、どっかないだろうか。

で、学校の紹介で私の先輩、大学の先輩がやってる公認会計士のところに行ったんです。

その先生が薄衣佐吉っていう先生なのね。薄衣佐吉先生に最初面談に行ったときに「君は両親にあいさつしてるか？」「は？」「両親に挨拶してるか？」

私は魚屋の息子なのね。昭和17年生まれの魚屋の息子がさ、「お父さんおはようございます。お母さん、、、」やるはずがない。(会場笑い)

そんなことも知らない先生なのかなと思って「いいえしてません」って言ったら、バーンと机をたたいて叱るんですよ、私を。で、その言葉がこれなんです。

「親に頭の下がらないものがどうして人に頭が下がる、人に頭が下がらないものがどうして指導者足りえよう。うちは専門家はいらん！専門家たる前に人間たれというのがわが事務所の所訓である！」ものすごく大きな声で叱られた。その時は何言われてるか分からなかった。

座敷で、正座で、大きな声で面と向かって怒られた。東北の岩手県の人で訛りが強いしね、何を言ってるんだらう、よく分からなかった。このフレーズが何度も何度も出てくるんです。

「親に頭の下がらないものがどうして人に頭が下がる、人に頭が下がらないものがどうして指導者足り得よう。うちは専門家はいらん！～」正座して30分も40分も叱られ続けて、あー早く終わんないかな、なかなか終わらない。

そのうちに、ちょっと待てよ。生まれてこの方こんなに叱られたことがない。そうだ、この先生、なんかあるに違いないと思って話がちょっと切れたときにわしが手をつけて

「申し訳ありません！来年出直してくるからまた面接してください」

「そう、じゃあ入れてやろう。じゃあ、君両親に挨拶するな？」「いたします」

「じゃあ、来週もう一回お父さんとお母さん連れて来なさい」「は？」

「いや、お父さんとお母さんを連れてくるんだ」びっくりしましたね、これは。

当時私の親父は、魚屋をやって、昭和じゅう、何年だっけなあれは、いずれにしてもかなり遅くまで、私の父親は戦闘帽を被ってゲートル巻いて、そして魚河岸に毎朝行っていた。

そういう父親でした。世間知らずの。わしは父親とはあんまり会話をしたことがなかった。

戦争で焼け出されて、住まいと店が別々でしたから、わしらが朝起きるともう父はいなかったわけで、魚河岸行っていたからね。わしが学校から帰ってきてても、父親は店で、私が寝るころにならないと店から帰ってこないから、ほとんど接点がなかった。

だから父親と話すことはほとんどなかった。だから先生が、お父さんお母さん連れて来週又来なさいつったって、お父さんに話せないからお母さんに「お母さん実はこうこう～～それでお父さんお母さん来てもらわなくちゃいけない」で、お母さんが「そうねえ、お母さん何でもいいんだけど、お父さんが行ってくれるかねえ」「お母さん、頼むよ。よろしく」つってです。それで、来てくれることになったんですが、問題は「じゃあ、両親とあいさつするんだな！」と約束しちゃったから、ね。面接にお父さんお母さん連れて行くときには、挨拶ができてないといけない。

これが困った。さあ、どうやって挨拶したらいいのか、檻の中のライオンみたいにウロウロ、ウロウロ、、面接に行くまで3日くらいしかない。さあ困った一って、そんな時、私が8畳間に入ったら、向こうから母が障子を開けて入ってきた！今だー！と思ったんですね、すれ違いざまに「お母さんおはよう！」ついたら母がびっくりして「しげるおはようどうしたの？」やったーと思いましたね。おしっこもらすってのはこういう事かと思いましたね。

いや、そんな感じでした。もう、ほんとにやった一、よろよろよろ～と腰が抜けて、それが母に挨拶をした初めなんです。でも僕は間違いなく、ここでスイッチが入った。母と挨拶ができたことが、人生のスイッチだったんですね。

そう、これで、そうか、挨拶ひとつで人って変わるんだー！

挨拶ひとつで会社が変わる。たかが挨拶、されど挨拶。

挨拶の本を書いたのはもう20年くらい前ですね。「挨拶で変わる・会社が活きる」っていう本を書かせていただきました。その本を書いて、私母に見せたのね。

「お母さん、あの、これ僕が書いたんだよ」まじまじと見て「世の中にはお前あれだねえ、天明茂っていうのは他にもいるんだねえ」（会場笑い）

まさか私が本を書くななんて思わなかったんだね。そうなんです、そうなんです。

私はそれがスイッチだった。

そんなことから薄衣先生の元で行き詰まってる会社の再建ばかりやっていました。

私の先生、薄衣佐吉先生がつぶれた会社の再建ばかり。で、なぜ会社が潰れるんだ。

どうしたら会社が再建できるんだ。薄衣先生は調べていくうちに、「行き詰まってる会社はみんな経営者に問題がある。経営者の人間力に問題がある」。そしたらみんな、家庭が上手くいってない。親子の関係、夫婦の関係、先祖の関係。これだ！私の先生はそこに気が付いた。

そして行き詰まった会社の家庭を改善した。家庭が良くなってくると、社長が変わる、社長が変わると社員が変わる、社員が変わるとお客さんが上がってきて、会社が良くなってくる。

そのことの核心が、家庭。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、家系のところなんだね。

家系を遡って先祖につながると天命がわかる。わーこれが自分の天命だー！

この天命を社会的課題の解決に使っていく。そのことで会社が良くなる。家庭が良くなる。そんなことを私は恩師の元で、そして独立して50年やらせてもらってました。

『天職観』

僕らの頃は、仕事は天から与えてもらったもの『天職観』。それに対して、欧米の働き感『労働』違うでしょう。僕ら天職観だったわけだ。仕事は天から与えられた。だから天職観のところは仕事は天から、働くは傍（はた）を楽にする、傍を楽、傍がずっと広がっていくと社会を楽にする。社会をよくする。これが働き感だね。働きは自分の成長だし、仕事の対価は喜びだった。違いますか？
一年365日24時間働いたって疲れないときは疲れない。喜びが満ち満ちてさ。その疲れ、疲れついたらおかしいけどもさ、気持ちのいい疲れだよねえ。
今の労働観はそうではない。仕事は会社から命令されるもの、ね。
仕事はいかに楽になるか、生活を豊かにするか、だから対価はお金。残業手当、休日手当とか。働き方改革の根本思想がどっか違うよな。僕はこのまんまいったら日本がおかしくなっちゃう絶対に。みんな経営者は言っている。でも経営者は口に出せなくなってるよね。政治家も口に出せない。僕は政治家でもないし、経営者でもないから。勝手に口出してるんだよ、何とかしなくちゃって。
天職観と労働観そのちがい。『労働観』ってどっから出てきた。
アダムとイブが禁断の木の実を食べた。この罰として女性には産みの苦しみを、男性には働く苦しみを与えられた。罰だつうわけだ。罰だから、その罰を一生懸命やって、対価として金をもらうとか、休日をもろう。
日本の働き方は違うよね。ていうところをしっかりと変えてかなくちゃいけない。改めて仕事ってなんだ。

仕事は志事だつって、僕は池田明光さんの本を見てたら仕事は志事だ、そうだ一、志す事。良いこというねえ。

仕事は『社会的課題の解決です。問題を解決することが仕事』
それによって『新たな価値を創造する 社会的価値が生まれる』
そして『仕事を通じて人を人足らしめる』

シューマッハーって人がね、ミャンマーの人の働きは仏教経済学ともいべきものだ。彼はそう感じて仏教経済学と名付けた。そこにおける仕事の役割。シューマッハーはこう言ってます。

- ① 人間の能力を発揮、向上させる
- ② 共働を通して自己中心をなくす
- ③ まっとうな生活に必要な財、サービスを生み出す。

仕事ってそういうもんなんだよね。仕事の精神は相まって人生を創る。もう一回仕事を見直してみなければいけない。

僕はびっくりしたんですが、『志』っていうのを文科省は使わないんだって。文科省の資料には『志』っていう言葉が出てこない。知ってました？ 僕は知らなかった。なんで『志』って使わないんですか？ 英語に訳せない。え？ おかしいよね。日本のものが英語に訳せないからって。それで、文科省は何を使ってるの、『夢』を使ってるんだって。いつから『夢』と『志』と一緒にしたのさ。ね、おかしいよ、ほんと。でも、これが日本の実態です。

運は、よくあの松下幸之助の話をしてたね。松下幸之助は自分が弱かった。貧乏だった。学歴もない、だけど運がいい。だから松下幸之助が採用するとき「君は運がいい方か悪い方か」「僕はあんまり運が良くないんです」「はい他の会社行きなさい」てなもんで。

運の3つの条件っていうのが、野田一夫先生が言った。

『運は準備だ』『運は信念だ』『運は繋がりだ、人のつながり』この3つ。

で、僕は「ほ一、運だ一」で、少しずつ運の話をするようになってきたんです。

でもなかなか、声高らかに運だ一なんてあんまり大学の先生言えないじゃないですか。

なぜ？運は科学的に証明できないじゃないから。

再現性がないことは大学は教えちゃいけない。ね、科学って再現性がある。

こうやったら必ずこうなる。運つうのは再現性がない。

居酒屋和民ってあのブラック企業とかいろいろ言われてるけど、僕はそんなブラックじゃないなと思ってるんだ。和民の話を聞いたときにこう言った。「運は神様の応援だ。だから神様が喜ぶような生き方をすれば運は味方してくれる」正解と思ったよ僕は。

ただ、僕は神様っていうのはよく分からんから、私は先祖。先祖だったら、こうたどっていい。運は先祖の応援。先祖が喜んでくれるような生き方をすれば運が味方する。

二つの経営観。経営観今二つです世の中。

『経済価値重視』会社は儲けるもんだ。売上、利益、配当。

だけど、そのためには企業、規模を拡大しないとイケない。過当競争になって破たんしていく。これは資本主義の宿命ではないかと言われている。僕もかなりその傾向が強いと思う。

『社会価値重視』企業の目的は売上、株価利益じゃなくて、幸せ・環境・平和だよ。

そのためには企業は社会の課題解決をすることだ。社会の困ってる問題の解決をすることだ。

そうすると市民の共感支援を得て繁栄していく。これが企業のありかた。

けどマイナーなんだ、『社会価値重視』の方は。圧倒的に『経済価値重視』の方が多い。

でも企業は最初はみんな『社会価値重視』から。違いますか？最初は『社会価値重視』から。

二股ロケットの松下にしても、価格破壊を打ち出したダイエーだって、最初はこれは高すぎる、問題解決しよう。みんな『社会価値重視』から入っていく。

でも企業規模が大きくなってくると、みんな『経済価値重視』にいつちゃって、世の中壊れていく。僕らは、そうじゃない！『社会価値重視』を貫こうよ。そういう志が大事なんだ。

コンプライアンス。法を守る。あたりまえだよ。ね。遵奉。

経営で一番大事なのは、まあ一番大事って言うていいのかどうか、最低限コンプライアンスを守らなければいけない。その上に企業倫理ってあるんだよ。

企業倫理ってなんですか？そもそも倫理ってなんですか？

私の解釈。法で禁止されてないけど、やらない方がいいことはやらない。ちがいますか？

法で禁止されてないけど、やらない方がいいことはやらない。守ってますか企業は？

守ってない。ちがいます？合成着色料とかさ、添加剤もそうだし。いいのいいの、ドイツやる時はもっと厳格な基準でやらなくちゃいけないけど、日本国内は許されるからいいのつつつて。そんな感じ。いっぱいいっぱい。

企業倫理。法で禁止されてないけど、やらない方がいいことはやらない。

企業倫理は守ったら、そのうち社会貢献。社会貢献ってなんですか？法でやらなきゃいけないと決められてないけれどやった方がいいことはやること。ちがいますか？

企業はまずコンプライアンス、そして企業倫理を守る、そして社会貢献。

こういうことをして行かなくちゃいけないねえ。売上利益じゃない。結果として売り上げに。まずこのイノベーション。

難しいのは、義と利の葛藤なんだ。義と利の葛藤。

義を明らかにして利を凶らず。山田方谷も言ってます。

正義を貫くという事と利益と、なかなか相反する部分があるじゃないですか。

NPOがいっぱいあるけれど、儲からない。ランニングコストが回収できない。

それじゃ駄目なわけだ。

社会的企業がしっかり利益を出していく。正義を貫くことで利が付いてくるようなビジネスモデルの創出をしなければいけない。そのための、鍵が人間力の向上。

人間力ってなんですか？

私の定義。まだ辞書に載ってないけど、そのうち辞書に載ると思う。

人間力とはあなたでないとダメと言われる『絶対的信頼性』。

あなたでないとダメと言われる『絶対的信頼性』が人間力。

ちょっと、ちょっと手を貸して。誰でもいいから早く早く。誰でもいいのは人間力いらぬわけだ。猫の手でいいわけだからね。じゃあその、あなたでないとダメってような『絶対的信頼性』は、どういう要件が必要なの。

まず、『専門性』。専門性も他を凌ぐ優位性。同じお医者さんでもゴッドハンドを持つてるお医者さんとかね。そうそう、そういう事。

『人間性』。人間性は他を思う心と行動。ちょっと後でこれ問題に致します。

人間性がなくちゃいけない。

『生活基本』。社会人としての当り前の行動を徹底してできる。

きちんと挨拶ができる。「おはようございます！」当り前にできるね。

履物を揃える。立ったら椅子を中に入れる。当り前のことだよ。

その3つ。人間性は他を思う心と行動。

人の為、世の為、社会の為、国の為、思うほど人間性が高い。

俺が俺がって言うほど人間性が低い。

『人間性』心の発達7段階。わしの先生は7段階に区別しました。

一番下から、①『自己中心』。

赤ん坊は誰でも自己中心。そうだよ。赤ん坊って人の子と慮る赤ん坊いないよね。

で、学校行くようになって②『自立準備』。

成人して③『自立力』。

家庭を持って④『開拓力』。

社会に出て⑤『指導力』。

それも上層部になると⑥『包容力』。

そして、一番上は後姿で人を感化する⑦『感化力』。

そう、心はこうやって上がっていく。ところがわしの先生によると社会人は1、2、3段階で止まっている。大半が、75%の人が1、2、3段階で止まっている。

肉体は毎日餌をやってる。栄養をやらないと肉体は滅びてしまう。だから肉体は成熟し続ける。

心には餌をやらない人が圧倒的に多い。なぜ？心に餌をやらなくても死ぬことはないから。

そうそうそうそうなんだ。栄養与えてない。

じゃあ心の栄養ってなんですか？

良い本を読むとか、いいテレビを見るとか、それもいいでしょう。

鍵山秀三郎さんイエローハットの、あの人はなんと言ってるか。

「心の栄養は得にならないことをやり続ける」

得にならないこと、得にならないことをやり続けることが心の栄養だつって、あの人は便所掃除やってるわけだよ。トイレ掃除。で、鍵山さんはこう言ってる。

「得になることしかやらない人は、心が卑しくなる」

僕らは心の栄養はなんですか？心の栄養は先祖に繋がること。

基本的信頼感の獲得ができてないから。なんですか、基本的信頼感って？

子供が両親との間に強いきずなを形成する中で自分が他者から愛され、大切にされているのだという感覚。

いやだね皮肉な態度、シニカルな言葉は。要するに子供の頃お父さんお母さんから愛されてる。ああ、私はお母さんから愛されてる。お父さんから愛されてる。という感覚。

これが基本的信頼感。安心感だよ。安心感。

それが、これからお話しする家系図なんです。

その人間性を高める。一番大事なことは何か。

私どもは3つだと思っている。

人間性を高めるには、他を思う心と行動だよ。

『良い習慣を身に付ける』 凡事徹底OAA。OAAつつてんのは、お掃除、挨拶、ありがとう。頭文字。わたしが勝手に言ってることだから。あんまり辞書には載ってないけど。

良い習慣。習慣は人格を作る。これが一つ。

『日本古来の生き方に倣う』 日本古来の生き方、神道、儒教、仏教、武士道、老舗の家訓の中にいろんな教えがあって、私たちのDNAはそれがずっと流れているんだから、それに倣った生き方をする。

『受け継がれた徳を継承する』 DNAの洞察。

自分にはお父さんお母さんから徳をもらっている。それを発見する。

『個別生命観』。俺の命は俺の物。西洋の考え方。これが世の中壊してきた。

東洋はそうじゃない。

『連続生命観』。命はもらい物、頂きもの。お父さんお母さんから、おじいちゃんおばあちゃんから、ひいおじいちゃんおばあちゃんから。

ずっとさかのぼると『サムシンググレート』

宇宙の創造主のことを村上和雄先生はサムシンググレートつった。

そう、サムシンググレートからずっと命を受け継がれている。

だから、生き方はその命をもらったお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんの願い期待に答えていく。そうすることで、人間の能力が発揮される。

いいものは称えて受け継ぐ。悪いものは切り替えていく。

それを人生シナリオの切り替えとか、人生シナリオの書き換えとか、人生シナリオとか脚本とか。その脚本があるわけだみんな。その脚本の通りに動いてるだけ僕らは。

誰が脚本つくったの？ 上の方の人たちが脚本書いてくれて、それに沿って行ってるだけ。

そのうちいいものは残さない。悪いものは切り替えていく。

そうすることでいくらかでも道は開けていく、運が上がっていく、人間力が高まっていく。

自分の徳は先祖の徳もあるよ。自分の努力もあるよって人もいる。俺の努力だよ。

だけど、努力できる能力も先祖からもらった。みんなもらうんだよ。

イチロー選手が僕は天才じゃないつってよ。

当たり前のことコツコツやり続けてただけだ。それが人と違うところだ。

だけど人と違う、コツコツコツコツ1年365日寝る前10分間素振りをやって、それは普通の人にはできない、彼はできた。なぜ？

誰かからその努力する力をもらっている。そこがわかると、そうみんな頂き物だ。

そうやって見ていくと徳がいっぱいある。その徳をしっかり見て生かしていく。

『徳は本なり、財は未なり』。

徳って他に与えた喜びの天への貯金。っていうのが私らの定義。

他に与えた喜びが天に貯金してある。

おじいちゃんおばあちゃん、ひいおじいちゃんおばあちゃん、ずっと人にいいことをしてきた、それが貯金してある、天に。それが徳。

それに甘えるんじゃないで、自分も積んでいかなきゃいけない。それが徳積みだよ。

まあ、時々使わせてもらうのもいいでしょう。ああ、先祖の徳に助けられた。
でも徳を使いつぶした。なんつうことがないように。

家系分析のステップ。

①家系を調べてみます。

②そしたら家系図に書いてみます。

③生きざま調査っていうの。おじいちゃんおばあちゃん、ひいおじいちゃんひいおばあちゃんがどんな生き方をしてたのか、どんなお仕事だったのか、嫁姑の関係はどうだったのか、近所づきあいはどうだったのか。それを見ていくと、④徳、不徳の発見。ああ、こんないいところがあったのか、こんな辛かったこと、迷惑をかけたこともあるんだ。

そして⑤いいところは継承、悪いところはきれいにする。

⑥結果として幸せ、健康、成長。

それを⑦家訓にしたり家族史にしたり。

私の先生は行き詰まった会社の再建ばかりやってたって言いました。何百もやってる。

私は百何十社くらいしかやってないんですが、それでも先生と一緒にやってた。

そのツールがこれなんです。この家系分析をして、社長が変わっていく。

社長の徳が高まる。会社の徳が高まる。

知命・宿命・運命。これがね安岡正篤さん（ヤスオカマサヒロ）、安岡正篤って、明治、大正、昭和を生き抜いた日本の大思想家。日本最後の思想家だね。

安岡正篤は宿命と運命つってんの。

宿命はDNAに蓄積された定めだ。誰でもDNAに蓄積された定めがある。

だから易学が誕生する。だけど、宿命には徳もあれば不徳もある。

良いものは伸ばしながら、悪いものは切り替えるように運命、命を運ぶことが大事だ。

運命、ね。

運命だからしょうがないじゃなくて、自分の宿命を変えていけ。

何千何億という親たちの寄って作り上げてくれた自分というものを、いかにもお粗末にし、悪い意味において自己を忘れてやいませんか？て読者に問いかけてるの。

何千何億先祖がいるつつうわけだ。それから自分ができてるの。

その代々の先祖から伝わってる大事な自分というものにもっと親しめ。

そうすると、自分が自分に返ってくる。もっと自分を大切にする。

本当に自分になってこれはいかんという事になって、なんとかせねばいかんという事になって、自己を新しくすることができる。

これを調べてみると、そうか、これが自分だ、自分が分かる。

自分探しがここにあるつうんだ。ね。

もっと自分を大切にするっていうのはここを大切にするようになると自己が新しくできる。

そのことを村上和雄先生は、村上和雄先生って筑波大学の名誉教授。遺伝子工学の先生。

わし、この本を書いたときに、雑誌、致知出版っていうところでもらって、この致知出版の致知っていう雑誌に対談を村上先生とさせてもらいました。3時間ぐらい。

そんとき村上先生の有名なのはサムシンググレート。サムシンググレートって宇宙の創造主。

それが自分の親の親の親の、ずっと上の親みたいなものだから、自分がなにか志を持って行動すれば、サムシンググレートが応援してくれる。これが、奇跡なんだよ。これが運なんだよ。

運は先祖の応援だって村上先生が言ってる。

で、僕はその時に「先生質問！」「なんですか、天明さん」

「問題は配線が繋がってるかどうかだよ。村上先生はサムシンググレートがスイッチオンすると自分の遺伝子がスイッチオンするって言われてるよね」

『スイッチオンの生き方』っていう本この人書いてるから。

「だけど、サムシンググレートがスイッチオンしたって、配線が繋がってなかったら自分の遺

伝子はスイッチオンしないよね。」「しません」

なんですか、配線って。お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、それが繋がってないとダメだってつってるわけだ。だからそれをつなごうよ。

積徳。徳を積む。具体的には

- 1 利他に生きる。他を喜ばせることを生き方の中心に置く
- 2 C S V経営。本業を通じて社会価値の創造と経済価値の創造の一致を図ることで社会問題を解決する。
- 3 家族の幸福度を高める。家族を幸せにしないで、いい会社なんか絶対できない。多いですよ。家族を犠牲にして一時的に会社がいいように見えても続かない。子供がかわいそう。後継者が。

今ずっとお話ししてきた一連の流れ理を、天命の理。

勝手に呼んでんの。天命の理。先祖に遡っていくと、徳が継承できる。ああ、これが天命だ、天命に繋がる。それを社会の為に役立てていくことで、自分が成長する、家族が成長する、社会がよくなる。これを多くの会社、今人材育成に取り組んでいる。

最後になります。徳は先祖から人に、会社に、先祖にさかのぼって、先祖に徳をもらうことで、家徳が高まる。その家徳が自分の仁徳になって行く、その人徳が会社に反映して社徳になっていく。だから人徳を高める、社徳を高める。そのためには家徳を高めなくちゃいけない。

私共はこれで、40年行き詰った会社の再建をさせて頂いています。

今、この家族が大きく崩れてきている。

この家族のゆがみが社会の崩れに大きく影響している中で、なんとか人間力大学を通じて、こういう今の社会変えていけたらいいなと思って、これを実際にやる、立命塾という塾をやったりしております。また、ぜひご関心があったらお取り寄せいただけたら嬉しいです。

天明 茂（てんみょうしげる）

一般社団法人人間力大学晃理事長、公認会計士、宮城大学名誉教授

全国日本道連盟特別顧問、宮城県多賀城市行財政経営アドバイザー

出身地 東京都大田区

今回、8月529号「7月16日 天明茂氏講演」の【レジュメ】、【速記録】、【DVD】を3点1セットで2,000円でお渡しいたします。

ご希望の方はお電話かFAXでお申込みください。

代金振込先は発送物に同封してご案内いたします。

TEL : 052-651-6000 FAX : 052-652-0066

お名前	(会社名)	セット
お電話	FAX	
住所	〒	

※FAXでお申込みの方は点線内を送信ください。

※お電話でお申込みは「7月16日講演 DVD セット希望」とお伝えください。

1. 8月21日(水) 倫理経営基礎講座
テーマ テキスト第2講「倫理運動の原点」
講師 寫本 真人 氏
時間 PM 18:30 ~
会費 無料
場所 金山ゼミナールプラザ

2. 8月22日(木) 経営者モーニングセミナー
テーマ 「視点を変える」
講師 寫本 真人 氏
時間 AM 6:30 ~ AM 7:30
会費 無料
場所 金山ゼミナールプラザ

3. 8月29日(木) 経営者モーニングセミナー
テーマ 「苦難福門 ~企業再生の修羅場で学んだこと~」
講師 佐田 展隆 氏
時間 AM 6:30 ~ AM 7:30
会費 無料
場所 金山ゼミナールプラザ

※倫理法人会セミナーは事前申込みは必要ありません。

受付で『石川光男の紹介です』とお伝えください。

※会場…金山ゼミナールプラザ

〒460-0024 名古屋市中区正木3-7-15 TEL 052-331-6411

8月の税務と労務

-
- | | |
|------------------------|-----------|
| ・ 6月の決算法人の確定申告、消費税など納税 | 期限(9月2日) |
| ・ 12月の決算法人の中間申告、納税 | 期限(9月2日) |
| ・ 12月の決算法人の消費税の中間申告 | 期限(9月2日) |
| ・ 7月分源泉所得税納付 | 期限(8月13日) |
-

税理士法人みらい経営 名古屋オフィス (発行元)

税理士・中小企業診断士 社会保険労務士・行政書士 石川 光 男
〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号
TEL 052 (651) 6000 FAX 052 (652) 0066

ishikawa@ishikawakk.or.jp

<http://www.mirai-kg.com/>

半田オフィス

税理士 榊原 睦

〒475-0928 半田市桐ヶ丘一丁目89番
TEL 0569 (26) 1566 FAX 0569 (26) 1569

mbara623@k6.dion.ne.jp